

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公開番号】特開 2001-50004 (P2001-50004A)  
【公開日】平成 13 年 2 月 23 日 (2001.2.23)  
【出願番号】特願 2000-155577 (P2000-155577)  
【国際特許分類】

**F 0 1 D 5/18 (2006.01)**

【F I】

F 0 1 D 5/18

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 25 日 (2007.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

先端キャップ 30 から外側に延在して該先端キャップ上部に先端キャビティ 34 を画成するスクイアラリブ 32 と、該先端キャップ上部の先端キャビティ内に配設された断熱体 44 と、冷却媒体 42 を流すために前記キャップ 30 の内側に配設された内部冷却路 40 と、上記冷却媒体を前記先端キャビティ 34 内に供給するために上記冷却路と連通して前記キャップを貫通する複数の先端孔 46 と  
を含み、

前記断熱体 44 が前記スクイアラリブ 32 から離隔して溝 48 を画成し、かつ該溝に前記冷却媒体を吐出するため前記先端孔 46 が前記キャップ 30 を貫通して該溝に通じているタービン翼形部 14。

【請求項 2】

一体に形成されたスクイアラリブ 32 とともに縦方向に延在しかつ翼弦方向に前縁 36 と後縁 38 の間に延在する第 1 側壁 24 と第 2 側壁 26 をさらに含んでなり、該側壁同士は互いに離隔していてその間に前記冷却路 40 を画成し、かつ前記溝 48 が上記側壁の少なくとも一方に沿って前縁と後縁の間に延在している、請求項 1 記載の翼形部。

【請求項 3】

前記溝 48 が両方の側壁 24、26 に沿って延在し、前記断熱体 44 を囲んでいる、請求項 2 記載の翼形部。

【請求項 4】

前記溝 48 が前記スクイアラリブ 32 上部で開放されている、請求項 2 記載の翼形部。

【請求項 5】

前記溝 48 が前記スクイアラリブ 32 上部で閉鎖されている、請求項 2 記載の翼形部。

【請求項 6】

前記断熱体 44 がハニカムである、請求項 2 記載の翼形部。

【請求項 7】

前記断熱体 44 が前記キャップ 30 から縦方向外側に延在するセル 50 を含んでなる、請求項 6 記載の翼形部。

【請求項 8】

前記断熱体 44 b が前記キャップ 30 と平行に延在するセル 50 を含む、請求項 6 記載の翼形部。